

事業シート(令和3年度決算)

事業名	61100 物産宣伝推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	・飛騨高山ブランドの大都市圏や海外への販路開拓を強化するとともに、どこにいても飛騨高山ブランド産品が購入できるeコマース(ネット通販、ネットショップ、インターネット通販など)の仕組みを構築します。
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(3)	品質・価値の向上と情報発信		
			項	1	商工費	根拠計画	産業振興計画、過疎地域持続的発展計画				
			目	1	商工振興費						
担当課	商工労働部 商工振興課	内線	2213								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市内の特産品の販路拡大や市内商工業の振興を図る。	概要	・高山市産業振興協会が実施する飛騨高山展への補助金の交付 ・新作土産品及び推奨土産品の審査・公表、推奨土産品登録証紙によるPR等の実施
----	---------------------------	----	--

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
第2次産業の市内総生産額(年間)	(H30) 952億円	(H30) 952億円	-
第3次産業の市内総生産額(年間)	(H30) 2,552億円	(H30) 2,552億円	-

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R2		R3				
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	20,300	849	15,200	14,807	1,693	844	
特定財源							
国費()							
県費()							
その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)	100	100				△ 100	
一般財源	20,200	749	15,200	14,807	1,693	944	
個票枝番	主な事業内容						
	飛騨高山展の開催	16,000	0	11,000	11,000	715	715
	飛騨高山フェアの開催	2,230	193	2,230	2,087	0	△ 193
	土産品の奨励	410	107	410	410	104	△ 3
	ECサイトへの支援						
	産業振興協会補助金	360	360	360	360	360	0

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

(千円)

R4予算		実施計画額		14,800
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
9,717	4,550	4,550	△ 10,650	
9,717	4,550	4,550	△ 10,650	
査定額	説明			
3,000				
400				
360				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	・イオン各務原店において飛騨高山フェア(委託販売形式)開催(令和2年8月) ・土産品振興奨励審査会を開催し、推奨土産品登録証紙や市ホームページ等により市民、観光客にPR 新作土産品の表彰(優秀賞1点) 推奨土産品の登録(新規1点、継続61点)
評価等	・新型コロナウイルス感染症の影響により、百貨店における飛騨高山展がすべて中止になるなど、実施することができない事業が多くあった中で、高山市産業振興協会によるインターネット通販サイトの構築やクラウドファンディングによる特産品等の在庫販売促進などの取り組みを進めた。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

5.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	・土産品振興奨励審査会を開催し、推奨土産品登録証紙や市ホームページ等により市民、観光客にPR 新作土産品の表彰(奨励賞5点) 推奨土産品の登録(新規18点、継続57点)
評価等	・長引く新型コロナウイルス感染症の影響により、引き続き百貨店における飛騨高山展が中止になるなど厳しい状況が続いたが、高山市産業振興協会によるインターネット通販サイトの本格運用開始や市内での物産催事の開催など、コロナ禍における環境変化に対応した取り組みを進めた。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	飛騨高山展の開催や新たに立ち上げたECサイトへの支援に必要な経費を計上
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和3年度決算)

事業名	61105 伝統的工芸品産業等振興事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	・あらゆる分野において、後継者育成、技術継承、事業継承への支援を充実します。また、匠の技の継承と発展を支援し、高山らしい産業を支える人材の育成・確保を進めます。
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出		
			項	1	商工費		根拠計画		産業振興計画、過疎地域持続的発展計画		
			目	1	商工振興費						
担当課	商工労働部 商工振興課	内線	2213								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・伝統的工芸品産業等の伝統技術を守り伝えていくとともに振興を図り、市内産業全体の活性化を図る。	概要	・伝統的工芸品産業等の後継者育成に対する助成 ・飛騨伝統的工芸品産業振興協議会に対して負担金を交付 ・飛騨春慶連合協同組合及び飛騨一位一刀彫協同組合が行う事業に対して補助金を交付、原材料の共同購入資金を貸付 ・飛騨高山の名匠の認定制度の運用
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
「個性・魅力あるものづくりが行われ、工業が活性化している」と感じている市民の割合	32.2%	40.7%	-

2.事業の実施結果等(Do)

		R2		R3			
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		65,375	60,079	49,595	45,395	39,805	△ 20,274
特定財源	国費()						
	県費(岐阜県産品購入促進補助金)	5,000	5,000				△ 5,000
	その他(雑入(貸付金元金)、飛騨高山ふるさと基金繰入金ほか)	30,300	29,300	27,000	27,000	27,000	△ 2,300
一般財源		30,075	25,779	22,595	18,395	12,805	△ 12,974
個票枝番	主な事業内容						
	飛騨高山の名匠認定	590	262	590	590	339	77
	伝統的工芸品産業の後継者育成に対する助成	17,040	14,930	19,760	15,560	11,540	△ 3,390
	伝統的工芸品産業振興貸付金	29,000	29,000	27,000	27,000	27,000	△ 2,000
	伝統的工芸品のPRIに対する助成	2,500	0	1,000	1,000	0	
	市内産品の購入	15,000	14,908				△ 14,908
	飛騨春慶連合協同組合補助金	600	600	600	600	450	△ 150
	飛騨一位一刀彫協同組合補助金	420	420	420	420	270	△ 150

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

		R4予算	実施計画額	48,900
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
39,795	39,265	38,765	△ 10,830	
24,000	30,000	30,000	3,000	
15,795	9,265	8,765	△ 13,830	
査定額	説明			
560				
13,260				
24,000				
0				
450				
270				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・飛騨高山の名匠認定 11名 ・伝統的工芸品産業技術修得研修者(後継者育成事業) 2事業所2人 ・伝統建築産業技術修得研修者(後継者育成事業) 12事業所13人 ・飛騨春慶連合協同組合、飛騨一位一刀彫協同組合に対する運営費の助成と原材料共同購入に対する貸付 ・飛騨の伝統的工芸品展の開催(令和2年11月) ・市内産品の多様な場面での活用を進め、認知度の向上や飛騨高山ブランドの浸透を図るため、伝統的工芸品等を購入
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統的工芸品産業の後継者育成事業補助金は新たに1名、伝統建築産業の後継者育成事業補助金は新たに3名が補助対象となり、後継者の確保につながった。 ・飛騨高山の名匠認定制度については、PR方法を工夫するなど一層の認知度向上に努め、本市の産業のさらなる振興と後継者の育成につなげていく必要がある。 ・新型コロナウイルス感染症拡大による深刻な影響の中で、今後、地場産業の魅力や価値を周知していくために、市内産品を購入することで、伝統産業を支援することができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成や販路開拓のため、UIJターン希望者等に対する後継者育成事業補助制度の周知や、飛騨高山の名匠認定制度、伝統的工芸品月間等の事業を継続する。 ・伝統工芸品のPRIに対する助成については、新型コロナウイルス感染症の状況も踏まえて、引き続き伝統工芸品が多くの人々の目にふれ、手に取ってもらえるよう支援を継続する。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R2完了
- R3完了予定

5.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・飛騨高山の名匠認定 10名 ・伝統的工芸品産業技術修得研修者(後継者育成事業) 2事業所2人 ・伝統建築産業技術修得研修者(後継者育成事業) 11事業所12人 ・飛騨春慶連合協同組合、飛騨一位一刀彫協同組合に対する運営費の助成と原材料共同購入に対する貸付 ・飛騨の伝統的工芸品展の開催(令和3年11月)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統的工芸品産業等の後継者育成事業補助金は、伝統建築産業で新たに3名を補助対象とし、後継者の確保につながることができた。また、伝統的工芸品に由来する技術を有し国内外で高い評価を得ている事業所や、ものづくりの分野において、国内で希少かつ模倣が困難な高い技術を有している事業所も補助対象に加えるなど、補助対象者を拡充した。 ・飛騨高山の名匠認定制度については、これまで認定申請のなかった団体にも直接訪問し制度説明を行うなど、積極的な周知に努め、新たな団体からの申請につながった。今後も認知度向上に努め、産業のさらなる振興と後継者の育成につなげていく必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、後継者育成事業補助制度の運用による後継者の確保や、飛騨高山の名匠認定制度による高次元な技術を有する職人のPRと後継者の育成、伝統的工芸品展開催による産品の認知度向上を図る。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R3完了
- R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・飛騨高山の名匠認定に必要な経費を計上 ・後継者育成事業の推進に必要な経費を計上 ・伝統的工芸品産業の推進に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・伝統的工芸品導入支援事業補助金について、実績を踏まえ終了

事業シート(令和3年度決算)

事業名	61110 商工会議所等助成事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出	
			項	1	商工費		根拠計画		産業振興計画、過疎地域持続的発展計画	
			目	1	商工振興費					
担当課	商工労働部 商工振興課	内線	2213							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・高山市内の事業者への経営指導、経営相談により、市内の商工業の振興を図る。	概要	・高山商工会議所の事業費、高山商工会議所が行う中小企業相談所の事業費に対する助成 ・商工会の事業費に対する助成
----	---------------------------------------	----	--

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
第2次産業の市内総生産額(年間)	(H30) 952億円	(H30) 952億円	-
第2次産業の事業所数	(H28) 1,283件	(H28) 1,283件	-
第3次産業の市内総生産額(年間)	(H30) 2,552億円	(H30) 2,552億円	-
第3次産業の事業所数	(H28) 5,019件	(H28) 5,019件	-

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R2		R3				
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	30,050	18,490	26,680	26,680	23,734	5,244	
特定財源							
国費()							
県費(県委譲事務交付金)	88	117	117	117	139	22	
その他()							
一般財源	29,962	18,373	26,563	26,563	23,595	5,222	
個票枝番	主な事業内容						
	商工会の運営費等に対する助成	30,050	18,490	26,680	26,680	23,734	5,244

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

(千円)

R4予算		実施計画額		31,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
28,522	28,510	28,510	1,830	
117	139	139	22	
28,405	28,371	28,371	1,808	
査定額	説明			
28,510				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	・高山商工会議所の運営費及び事業費、高山商工会議所が行う中小企業相談所の運営費に対する助成 ・商工会の運営費に対する助成
評価等	・中小企業者の指導育成を行う商工会議所、商工会への支援を行い、市内産業の活性化に寄与した。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定 ・中小企業者の持続的な発展による市内産業の活性化のため、中小企業者の指導育成を行う商工会議所、商工会への支援事業を継続する。

5.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	・高山商工会議所の運営費及び事業費、高山商工会議所が行う中小企業相談所の運営費に対する助成 ・商工会の運営費に対する助成
評価等	・中小企業者の指導育成を行う商工会議所、商工会への支援を行い、市内産業の活性化に寄与した。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定 ・一部の運営費補助制度を廃止し、市内中小企業者の経営支援のための事業費への支援に切り替える。

担当課 予算要求 ポイント	・高山商工会議所が行う商工振興対策事業に必要な経費及び中小企業相談所に必要な経費を計上 ・高山北・西・南商工会が行う経営改善普及事業に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和3年度決算)

事業名	61130 地場産業振興事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出	
			項	1	商工費		根拠計画		産業振興計画、過疎地域持続的発展計画	
			目	1	商工振興費					
担当課	商工労働部 商工振興課	内線	2213							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・飛騨地域における地場産業振興および地場産業の健全な育成、発展を図る。	概要	・一般財団法人飛騨地域地場産業振興センターの管理運営に要する経費及び下記事業に対する助成 地場産業総合振興事業費 地場産業活性化対策事業費 地場産業振興事業推進費
----	-------------------------------------	----	--

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
「個性・魅力あるものづくりが行われ、工業が活性化している」と感じている市民の割合	32.2%	40.7%	-

2.事業の実施結果等(Do)

		R2		R3			(千円)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		24,937	21,945	20,937	20,937	20,937	△ 1,008
特定財源	国費()						
	県費(地場産業活性化対策事業費1/2、地場産業振興事業推進費1/2)	4,236	3,870	4,236	4,236	4,236	366
	その他()						
一般財源		20,701	18,075	16,701	16,701	16,701	△ 1,374
個票枝番	主な事業内容						
	地場産業総合振興事業等に対する助成	24,937	21,945	20,937	20,937	20,937	△ 1,008

4.令和4年度予算編成(Action)

		R4予算		実施計画額		21,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)			
20,940	26,530	26,530	5,593			
4,236	4,236	4,236	0			
16,704	22,294	22,294	5,593			
査定額	説明					
26,530	地場産業振興センターの整備に対する助成ほか					

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・飛騨の物産PR事業として、全国地場産センター交流展へ出展(R2年10月 愛媛県今治市) ・市内で伝統的工芸品等のPRのための展示会を開催(R2年10・11月 飛騨高山まちの博物館他) ・地域人材の確保・養成事業として、ものづくり技能向上研修や販売力向上研修を開催(R2年10月、R3年3月) ・飛騨の味まつりをオンライン開催(1回目:R2年6月、2回目:R2年9-10月、3回目:R3年2月) ・地場産業振興センターの運営等に対する助成 ・地場産センター整備に対する助成
評価等	・飛騨地域地場産業振興センターが実施する地場産品展示・普及事業や地域人材確保・養成事業、地場産業活性化対策事業、地場産販路開拓事業を支援することにより、地場産業の育成・発展に寄与した。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

5.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・飛騨・暮らしの工芸品展示会事業として、事業者5社と地場産品PRのための展示会を実施(R4年2月 兵庫県神戸市) ・飛騨の物産PR事業として、全国地場産交流展へ出展(R3年11月 愛媛県今治市) ・伝統的工芸品等のPRのための展示会を市内で開催(R3年11月 飛騨高山まちの博物館) ・地場産品普及開拓事業として、事業者8社と東京インターナショナル・ギフト・ショーに出展(R4年2月 東京都江東区) ・地域人材確保・養成事業として、ものづくり技能向上研修や販売促進研修を開催(R3年8-12月、R4年1-2月) ・飛騨の味まつりを春・秋2回にわたり開催(1回目:R3年7月、2回目:R3年10月) ・オンラインでの飛騨の味まつりを開催(R3年6月) ・上記事業実施のため、地場産業振興センターの運営等に対し助成
評価等	・飛騨地域地場産業振興センターが実施する地場産品展示・普及事業や地域人材確保・養成事業、地場産業活性化対策事業、地場産販路開拓事業を支援することにより、地場産業の育成・発展に寄与した。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・飛騨地域地場産業振興センターの施設管理運営に対する支援に必要な経費を計上 ・飛騨地域地場産業振興センターが実施する振興策への支援に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・地場産業振興センター施設修繕について、県、関係市村等によるエレベーター改修の対応に必要な金額を追加
-------------------	--

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(令和3年度決算)

事業名	61145 中小企業融資事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(2)	地域産業の担い手確保と生産性の向上	
			項	1	商工費		根拠計画		産業振興計画、過疎地域持続的発展計画	
			目	1	商工振興費					
担当課	商工労働部 商工振興課	内線	2213							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市内中小企業の経営の安定を図る。	概要	・中小企業融資及び利子・保証料補給の実施 ・業況の悪化している事業者への利子・保証料補給の実施
----	-------------------	----	--

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
第2次産業の市内総生産額(年間)	(H30) 952億円	(H30) 952億円	-
第3次産業の市内総生産額(年間)	(H30) 2,552億円	(H30) 2,552億円	-

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R2			R3			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	2,119,415	1,518,486	1,259,101	1,491,431	1,094,424	△ 424,062	
特定財源							
国費 (新型コロナウイルス感染症対応・地方創生臨時交付金)	488,483	347,272		174,000	231,751	△ 115,521	
県費 ()							
その他(預託金元金、ふるさと納税)	941,500	821,400	860,000	965,533	681,333	△ 140,067	
一般財源	689,432	349,814	399,101	351,898	181,340	△ 168,474	
個票枝番	主な事業内容						
	県融資制度に対する助成金	34,000	28,273	29,000	29,000	20,403	△ 7,870
	小口融資	469,000	390,472	405,000	405,000	231,648	△ 158,824
	経営安定特別資金融資	776,000	459,908	524,000	523,604	359,083	△ 100,825
	小規模事業者経営改善資金融資制度に対する助成	2,300	406	1,400	1,400	49	△ 357
◎ 1	令和2年7月豪雨災害復旧支援融資に対する助成	7,000	0	150	150	0	
◎ 2	新型コロナウイルス対策融資に対する助成	829,814	638,427	299,000	532,000	483,082	△ 155,345

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

(千円)

R4予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
1,263,501	1,260,851	1,260,851	1,750
780,000	800,000	800,000	△ 60,000
483,501	460,851	460,851	61,750
査定額	説明		
31,000			
365,000			
493,000			
1,500			
370,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 市制度融資の借入に対する支援 利子補給 463件 保証料補給 70件 県制度融資の借入に対する支援 利子補給 287件 日本政策金融公庫融資の借入に対する支援 利子補給 40件 災害復旧支援融資 利子補給2件 新型コロナウイルス対策 利子補給 1,006件 保証料補給 854件
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 市制度融資の借入に対する利子・保証料補給、県・日本政策金融公庫融資に対する利子補給を行い中小事業者の経営支援を行った。 平成30年度豪雨災害により被害を受けた事業者への利子・保証料補給による経営支援を行った。 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者への利子・保証料補給を行い、事業継続の支援を行った。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 直近年度は、新型コロナウイルス感染症に対する支援融資の利用が増えたことから、市制度融資の利用は減少したものの、小規模事業者を中心に利用があり、引き続き実施をする。 新型コロナウイルス感染症の支援制度については、市内産業の業況等を踏まえて柔軟な対応を行う。 令和2年7月豪雨災害復旧支援融資に対する助成については、融資実行がなかったため、次年度以降の執行見込みはない。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R2完了
- R3完了予定

5.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 市制度融資の借入に対する支援 利子補給 253件 保証料補給 64件 県制度融資の借入に対する支援 利子補給 155件 日本政策金融公庫融資の借入に対する支援 利子補給 4件 災害復旧支援融資 利子補給1件 新型コロナウイルス対策 利子補給 1,483件 保証料補給 485件
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 市制度融資の借入に対する利子・保証料補給、県・日本政策金融公庫融資に対する利子補給を行い中小事業者の経営支援を行った。 平成30年度豪雨災害により被害を受けた事業者への利子・保証料補給による経営支援を行った。 新型コロナウイルスの影響を受けた事業者への利子・保証料補給を行い、市内事業者の事業継続の支援を行った。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、各種融資制度の借入に対する利子・保証料補給を行い、中小企業者の経営支援を実施する。 新型コロナウイルス感染症への対応として、過年度実行分の新型コロナウイルス対策融資への利子補給を継続するとともに、条件変更時の追加保証料補給制度や伴走支援型特別保証制度への利子補給を実施する。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R3完了
- R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 経営安定を図るための保証料・利子補給に必要な経費を計上 新型コロナウイルス対策融資の条件変更時の保証料補給に必要な経費を計上 金融機関による継続的な伴走支援を条件とする融資制度の利子補給に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

主要事業個票(令和3年度決算)

事業名	61145 中小企業融資事業	区分	<input checked="" type="checkbox"/> R3新規	<input type="checkbox"/> R4新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	商工振興課
枝番・内容	1 災害復旧支援融資に対する助成		<input type="checkbox"/> R3拡充	<input type="checkbox"/> R4拡充		款	6	商工費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		1	商工費	内線	2213	
		<input type="checkbox"/>		目		1	商工振興費	作成年月	R4.8	

事業の目的・概要(Plan)

目的	・令和2年7月豪雨により被害を受けた事業者の資金調達を支援するため	概要	・金融機関が令和2年7月豪雨により被害を受けた事業者のために行う融資に対する利子を3年間全額助成する
----	-----------------------------------	----	--

【参考】R2決算(Do-Check) R3.8時点 (千円)

予算額	当初	0
	繰越	0
	補正等	7,000
	最終	7,000
決算額		0
対前年度増減額(決算)		

【参考】R3当初予算(Action) R3.3時点 (千円)

予算額	当初	150
主な経費	・令和2年豪雨災害復旧支援融資に対する利子補給額	
	対前年度増減額(当初予算)	
		150

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R3決算(Do-Check) R4.8時点 (千円)

予算額	当初	150
	繰越	0
	補正等	0
	最終	150
決算額		0
対前年度増減額(決算)		0

R4当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	
主な経費		
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
[事業実績] ・実績なし	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	令和2年7月豪雨により被害を受けた事業者への支援を実施する <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	・金融機関が令和2年7月豪雨により被害を受けた事業者のために行う融資に対する利子を助成する 対象者 令和2年7月豪雨により被害を受けた事業者で令和2年7月9日から令和3年3月31日までに融資の実行を受けたもの 利子補給期間 3年
[スケジュール]	

事業実績、評価等	
[事業実績] ・実績なし	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	対象者がいないため、事業を終了する <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input checked="" type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
[スケジュール]	

主要事業個票(令和3年度決算)

事業名	61145 中小企業融資事業	区分	<input checked="" type="checkbox"/> R3新規	<input type="checkbox"/> R4新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	商工振興課
枝番・内容	2 新型コロナウイルス対策融資に対する助成		<input type="checkbox"/> R3拡充	<input type="checkbox"/> R4拡充		款	6	商工費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		1	商工費	内線	2213	
		<input type="checkbox"/>		目		1	商工振興費	作成年月	R4.8	

事業の目的・概要(Plan)

目的	・新型コロナウイルス感染症の影響を受けた市内中小企業の資金調達を支援するため	概要	・新型コロナウイルス感染症の影響により、業況が悪化している事業者のために行う新型コロナ関連融資に対する保証料全額及び3年間の利子全額を助成する。
----	--	----	--

【参考】R2決算(Do-Check) R3.8時点 (千円)

予算額	当初	0
	繰越	778,000
	補正等	51,814
	最終	829,814
決算額		638,538
対前年度増減額(決算)		629,352

【参考】R3当初予算(Action) R3.3時点 (千円)

予算額	当初	299,000
主な経費	新型コロナウイルス対策融資利子補給金(債務負担分)	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R3決算(Do-Check) R4.8時点 (千円)

予算額	当初	299,000
	繰越	100,000
	補正等	133,000
	最終	532,000
決算額		483,082
対前年度増減額(決算)		△ 155,456

R4当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	370,000
主な経費	新型コロナウイルス対策融資利子補給金(債務負担分)	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
[事業実績]	・新型コロナウイルス対策 利子補給 1,006件 保証料補給 854件
[評価等]	・新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者への利子・保証料補給を行い、市内事業者の事業継続を支援することができた。
次年度以降の考え方(担当課)	・新型コロナウイルス感染症の影響による市内産業の業況等を踏まえ、柔軟な対応を検討していく。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	・金融機関が新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者のために行う融資に対する利子を助成する 対象者 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた市内事業者 で令和2年1月28日から令和3年3月31日までに融資の実行を受けたもの 利子補給期間 3年
[スケジュール]	

事業実績、評価等	
[事業実績]	・新型コロナウイルス対策 利子補給 1,483件 保証料補給 485件
[評価等]	・新型コロナウイルスの影響を受けた事業者への利子・保証料補給を行い、市内事業者の事業継続を支援することができた。
次年度以降の考え方(担当課)	・新型コロナウイルス感染症への対応として、過年度実行分の新型コロナウイルス対策融資への利子補給を継続するとともに、条件変更時の追加保証料補給制度や伴走支援型特別保証制度への利子補給を実施する。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	・金融機関が新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者のために行う融資に対する利子を助成する 対象者 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた市内事業者 で令和2年1月28日から令和4年3月31日までに融資の実行を受けたもの 利子補給期間 3年
[スケジュール]	

事業シート(令和3年度決算)

事業名	61155 道の駅等管理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(5)	地域循環型経済の構築	
			項	1	商工費		根拠計画		産業振興計画、過疎地域持続的発展計画	
			目	1	商工振興費					
担当課	商工労働部 商工振興課	内線	2213							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・高山市の恵まれた自然、歴史、文化資源を生かし、都市との交流及び観光客の誘致並びに地域特産品の生産・販売により、地域の活性化を目指す。	概要	・「道の駅」機能による地域情報の発信と、「付帯施設」における特産品や地元野菜の販売等 ・清見地域で活動しているクラフト作家の作品の常設展示即売や地域の集会所としての貸館等
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

		R2		R3			(千円)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		137,544	118,786	68,528	128,854	107,880	△ 10,906
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(指定管理事業雑入(道の駅)等)	10,721	12,232	17,850	13,050	12,627	395
一般財源		126,823	106,554	50,678	115,804	95,253	△ 11,301
個票枝番	主な事業内容						
	指定管理委託料	78,860	61,686	10,560	68,760	49,147	△ 12,539
	その他管理運営経費	47,466	47,141	47,368	47,761	47,728	587
	工事請負費	7,200	6,917	8,300	10,033	9,518	2,601
	備品購入費	4,300	3,040	2,300	2,300	1,487	△ 1,553

4.令和4年度予算編成(Action)

		R4予算		実施計画額		68,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)			
72,489	67,611	67,611	△ 917			
17,850	17,850	17,850	0			
54,639	49,761	49,761	△ 917			
査定額	説明					
10,560						
47,351						
8,500						
1,200						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 道の駅8駅を施設管理委託 道の駅付帯施設7施設及びウッドフォーラム飛騨を指定管理委託 施設の老朽化に伴う修繕工事の実施及び各種備品の更新 R2年度については、新型コロナウイルス感染症の拡大による道の駅等の休業等の影響を踏まえ、指定管理委託料を増額し対応
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 地域の特産品の販売拠点として地場産業振興に寄与している 一部道の駅付帯施設については、交通量や隣接施設等の状況を踏まえ、今後のあり方を検討する必要がある
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 地域の特産品開発、販売の拠点機能をもつ道の駅の機能は、ほかに類似する施設もないことから、今後も運営を継続していく。 施設の老朽化等により、経営に支障をきたす恐れもあるため、計画的に維持・修繕工事を行う。 一部道の駅付帯施設については、交通量や隣接施設等の状況を踏まえ、地域との対話を踏まえて今後のあり方を検討する。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R2完了
- R3完了予定

5.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 道の駅8駅を施設管理委託 道の駅付帯施設7施設及びウッドフォーラム飛騨を指定管理委託 施設の老朽化に伴う修繕工事の実施及び各種備品の更新 R3年度についても、新型コロナウイルス感染症の拡大による道の駅等の休業等の影響を踏まえ、指定管理委託料を増額し対応
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 地域の特産品の販売拠点として地場産業振興に寄与している 一部道の駅付帯施設については、交通量や隣接施設等の状況を踏まえ、引き続き今後のあり方を検討していく必要がある
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 地域の特産品開発、販売の拠点機能をもつ道の駅の機能は、ほかに類似する施設もないことから、今後も運営を継続していく。 施設の老朽化等により、経営に支障をきたす恐れもあるため、計画的に維持・修繕工事を行う。 一部道の駅付帯施設については、交通量や隣接施設等の状況を踏まえ、地域との対話を行い引き続き今後のあり方を検討していく。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R3完了
- R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	施設の管理、老朽化による修繕、備品の更新に必要な経費を計上
---------------------	-------------------------------

財務部 査定の 考え方	積算内容を精査
市長査定 の考え方	財務部査定のとおりに

事業シート(令和3年度決算)

事業名	61160 商工関係団体支援事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(3)	品質・価値の向上と情報発信	
			項	1	商工費		根拠計画		過疎地域持続的発展計画	
			目	1	商工振興費					
担当課	商工労働部 商工振興課	内線	2213							

1. 事業の目的・概要(Plan)

目的	・地域経済を支える中小企業をはじめ、産業団体や地場産業等の振興を図る。	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・飛騨木工連合会の事業に対する助成 ・発明くふう展、木工工作コンクール等に対する助成 ・外国人観光客やアレルギーなどに対応したおもてなし環境整備に対する助成 ・国生産性革命推進事業、事業再構築補助金等の交付決定者に対する、上乗せ補助 ・産業団体等が行う自らの経済活動の維持と市内産業の活性化を図る事業に対する助成
----	-------------------------------------	----	--

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
第2次産業の市内総生産額(年間)	(H30) 952億円	(H30) 952億円	-
第3次産業の市内総生産額(年間)	(H30) 2,552億円	(H30) 2,552億円	-

2. 事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R2		R3			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	1,280,450	1,047,258	67,750	630,146	338,106	△ 709,152
特定財源						
国費(新型コロナウイルス感染症対応・地方創生臨時交付金)		348,183		86,000	78,200	△ 269,983
県費						
その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金等)	100	143,224		44,718	44,718	△ 98,506
一般財源	1,280,350	555,851	67,750	499,428	215,188	△ 340,663
個票枝番	主な事業内容					
	カード決済等の普及促進に対する助成	2,200	1,335			△ 1,335
	おもてなし環境整備に対する助成	2,000	1,208	1,500	1,896	688
◎ 1	中小企業生産性革命推進事業補助金	90,000	67,264	65,000	71,734	4,470
	産業団体活性化支援補助金(新型コロナウイルス対策)	800,000	559,362		390,000	△ 367,852

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4. 令和4年度予算編成(Action)

(千円)

R4予算		実施計画額		3,300
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
82,250	2,200	2,200	△ 65,550	
82,250	2,200	2,200	△ 65,550	
査定額	説明			
1,000				
0				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3. 令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・飛騨木工連合会の運営費に対する助成 ・発明くふう展の開催等に関する経費に対する助成 ・カード決済等の普及に対する助成 33件 ・おもてなし環境整備に対する助成 4件 ・事業承継の推進に向けた調査(推進委員会の開催、アンケート調査等の実施ほか) ・中小企業生産性革命推進事業補助金による経営革新等の取り組みに対する助成 112件 ・産業団体等活性化策支援事業補助金等による各種団体の取り組みに対する助成 100件
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・各種商工関係団体の取り組み支援を通じた市内産業の振興に寄与することができた。 ・事業承継については、委託先の取り組みとして各種調査や委員会の開催による情報共有に加え、事業承継相談窓口の広報や事業承継専門家の派遣等も実施し、市内事業者への啓発と事業承継の促進に寄与した。 ・中小企業生産性革命推進事業補助金の実施により、コロナ禍における経営革新の促進に寄与した。 ・産業団体等活性化策支援事業補助金等の実施により、市内産業団体の経済活動維持と市内産業の活性化のための取り組み促進に寄与した。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・関連団体との連携を一層強化して商工振興施策を推進するとともに、引き続き適正な事務の執行に努める。 ・新型コロナウイルス感染症の影響を乗り越えるため、次年度以降も、経営革新や持続化を図るための事業に積極的に取り組む市内事業者への支援を継続する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

5. 令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・飛騨木工連合会の運営費に対する助成 ・発明くふう展の開催等に関する経費に対する助成 ・おもてなし環境整備に対する助成 4件 ・中小企業生産性革命推進事業補助金による経営革新等の取り組みに対する助成 139件 ・産業団体等活性化策支援事業補助金等による各種団体の取り組みに対する助成 73件
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・各種商工関係団体の取り組み支援を通じて市内産業の振興に寄与することができた。 ・中小企業生産性革命推進事業補助金の継続実施により、コロナ禍における経営革新等の促進に寄与した。 ・産業団体等消費活性化策支援事業補助金の継続実施により、市内産業団体の経済活動維持と市内産業の活性化のための取り組み促進に寄与した。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・関連団体との連携を一層強化して商工振興施策を推進するとともに、新型コロナウイルス感染症の影響を乗り越えるため、次年度以降も、経営革新等を図る取り組みへの支援や、市内消費の活性化、コロナ禍における事業者の環境変化への対応強化を図る事業への支援を継続する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・中小企業の経済活動を支援する各種施策の実施に必要な経費を計上
---------------------	---------------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

主要事業個票(令和3年度決算)

事業名	61160 商工関係団体支援事業費	区分	<input checked="" type="checkbox"/> R3新規	<input type="checkbox"/> R4新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	商工振興課	
枝番・内容	1 中小企業生産性革命推進事業補助金		<input type="checkbox"/> R3拡充	<input type="checkbox"/> R4拡充		款	6	商工費			
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		1	商工費	内線			2213
		<input type="checkbox"/>		目		1	商工振興費	作成年月			R4.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・新型コロナウイルス感染症による影響を乗り越えるため、様々な取り組みを積極的に行う事業者に対して補助することで、経営の革新と持続化を図ることを目的とする。	概要	国ものづくり補助金、国持続化補助金、国IT導入補助金、国事業再構築補助金、県アフターコロナ・チャレンジ事業者応援補助金、県アフターコロナ対応新商品開発支援補助金の採択を受けた事業者に対して、上乗せ補助を行う。
----	---	----	--

【参考】R2決算(Do・Check) R3.8時点 (千円)

予算額	当初	0
	繰越	0
	補正等	90,000
	最終	90,000
決算額		67,265
対前年度増減額(決算)		67,265

【参考】R3当初予算(Action) R3.3時点 (千円)

予算額	当初	65,000
主な経費	過年度に国ものづくり補助金、国IT導入補助金、国小規模事業者持続化補助金、県小規模事業者持続化補助金の採択を受けた事業者に対する上乗せ補助額	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R3決算(Do・Check) R4.8時点 (千円)

予算額	当初	65,000
	繰越	0
	補正等	100,000
	最終	165,000
決算額		71,734
対前年度増減額(決算)		4,469

R4当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	0
主な経費		
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績・評価等	
<p>[事業実績]</p> <p>・中小企業生産性革命推進事業補助金による経営革新等の取り組みに対する助成 112件</p> <p>[評価等]</p> <p>・中小企業生産性革命推進事業補助金の実施により、市内事業者のコロナ禍における環境変化を踏まえた経営革新等の取り組みの促進に寄与した。</p>	
次年度以降の考え方(担当課)	<p>・新型コロナウイルス感染症の影響を乗り越えるため、次年度以降も、経営革新等を図るための事業に積極的に取り組む市内事業者への支援を継続する。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善</p> <p><input type="checkbox"/> 拡大</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止検討</p> <p><input type="checkbox"/> R2完了</p> <p><input type="checkbox"/> R3完了予定</p>

事業内容、スケジュール	
<p>[事業内容]</p> <p>・国生産性革命推進事業、事業再構築補助金等の交付決定者に対する、上乗せ補助を実施</p>	
<p>[スケジュール]</p> <p>令和2年度までの計画認定分を対象とする</p>	

事業実績・評価等	
<p>[事業実績]</p> <p>・中小企業生産性革命推進事業補助金による経営革新等の取り組みに対する助成 139件</p> <p>[評価等]</p> <p>・国生産性革命推進事業、事業再構築補助金等の交付決定者に対する、上乗せ補助の実施により、昨年度に引き続きコロナ禍における経営革新等の促進に寄与した。</p>	
次年度以降の考え方(担当課)	<p>・令和3年度中に上乗せ助成の対象となる補助金の採択を受けたものの、国等からの交付決定の遅延により事業実施が令和4年度にまたがる事業について、引き続き支援を実施する。(繰越予算対応)</p> <p><input type="checkbox"/> 維持・改善</p> <p><input type="checkbox"/> 拡大</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 縮小</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止検討</p> <p><input type="checkbox"/> R3完了</p> <p><input type="checkbox"/> R4完了予定</p>

事業内容、スケジュール	
<p>[事業内容]</p> <p>・令和3年度中に上乗せ助成の対象となる補助金の採択を受けたものの、国等からの交付決定の遅延により事業実施が令和4年度にまたがる事業について、引き続き支援を実施する。(繰越予算対応)</p>	
<p>[スケジュール]</p> <p>令和3年度までの計画認定分を対象とする</p>	

事業シート(令和3年度決算)

事業名	61165 地域経済戦略事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	産業連関表の分析結果(市外に流出している業務や資金がわかります)なども活用し、新たな地場産業の育成、市民所得の向上、適確な産業施策の立案などを進めます。	
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(5)	地域循環型経済の構築			
			項	1	商工費		根拠計画		産業振興計画、過疎地域持続的発展計画			
			目	1	商工振興費							
担当課	商工労働部 商工振興課、雇用・産業創出課	内線	2213									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・地域経済のヒト、モノ、カネの流れを客観的に把握し、産業構造など地域の特性や強みを活かした施策の実現につなげる。	概要	・産業連関表の分析結果などを活用した新たな産業施策の立案及び課題解決のための調査研究の実施
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
雇用者1人あたりの雇用者報酬	(H30) 3,961千円	(H30) 3,961千円	(R6) 4,300千円
就業者1人あたりの市内総生産額	(H30) 7,054千円	(H30) 7,054千円	(R6) 7,800千円
市際収支	(H28) ▲100億円	(H28) ▲100億円	-

2.事業の実施結果等(Do)

		R2		R3			
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		13,270	2,364	13,270	13,086	2,241	△ 123
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)	6,000		8,000	8,000	2,000	2,000
一般財源		7,270	2,364	5,270	5,086	241	△ 2,123
個票枝番	主な事業内容						
	地域経済懇談会の設置・運営	3,670	1,764	3,670	3,670	1,641	△ 123
	高度人材の育成支援	600	599	600	600	600	1
	地域経済実態調査	9,000	0	9,000	8,816	0	

4.令和4年度予算編成(Action)

R4予算		実施計画額		4,200
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
4,290	4,270	4,270	△ 9,000	
		1,000	△ 7,000	
4,290	4,270	3,270	△ 2,000	
査定額	説明			
3,670				
600				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・経済政策アドバイザーを中心に、市内事業者が参加する地域経済懇談会を開催 ・国のデータや産業連関表等を自らの企業活動に活用できる人材を育成する高度人材育成のためのセミナーを開催 ・当初予定していた市内流通実態調査及び労働環境調査については、新型コロナウイルス拡大の影響による市内流通状況や雇用環境の著しい変化を踏まえ、実施を見送った。
評価等	・地域経済懇談会では、コロナ禍で浮き彫りとなった市内産業の課題や取組みの方向性を整理した。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域経済懇談会において議論した内容を踏まえ、市内流通や働き方等に関する調査を実施し、今後の産業振興施策に活用する。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R2完了
- R3完了予定

5.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・経済政策アドバイザーによる助言のもと、観光関連事業者を中心に地域経済懇談会を開催 ・国のデータや産業連関表等を自らの企業活動に活用できる人材を育成する高度人材育成のためのセミナーを開催 ・当初予定していた市内流通実態調査及び労働環境調査については、昨年度に引き続き新型コロナウイルス拡大の影響による市内流通状況や雇用環境の著しい変化を踏まえ、実施を見送った。
評価等	・地域経済懇談会については、宿泊業や交通事業者、土産品製造業の観光関連事業者に個別でヒアリングを実施し、経済政策アドバイザーとともに課題の深掘りと解決に向けた取り組みの検討を行った。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・経済政策アドバイザーからの助言をいただきながら、地域経済懇談会における課題を設定し、コロナ禍における産業振興施策への活用を図る。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R3完了
- R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	地域経済懇談会の開催に必要な経費を計上
---------------------	---------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(令和3年度決算)

事業名	61175 消費活性化策事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(5)	地域循環型経済の構築	
			項	1	商工費		根拠計画		産業振興計画、過疎地域持続的発展計画	
			目	1	商工振興費					
担当課	商工労働部 商工振興課	内線	2213							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・マイナンバーカードによるマイナポイント制度を活用し、市内消費活性化を図る。	概要	・マイナポイント制度の利用等に必要マイキーID設定の支援 ・マイナポイント制度による消費活性化策の周知等
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
マイナンバーカード普及率	(R2) 28.2%	(R3) 45.5%	(R6) 93.0%

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R2		R3			増減 (b)-(a)
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	
		7,300	6,586	400	400	383	△ 6,203
特定財源	国費 (個人番号カード利用環境整備費補助金10/10)	2,300	2,282	400	400	383	△ 1,899
	県費 ()						
	その他 ()						
一般財源		5,000	4,304	0	0	0	△ 4,304
個票枝番	主な事業内容						
	マイナンバーカードを活用した消費活性化の推進	2,300	2,282	400	400	383	△ 1,899

4.令和4年度予算編成(Action)

R4予算		実施計画額		0
要求額	財務部査定額	市長査定額 (d)	増減 (d)-(c)	
	1,500	1,500	1,100	
	1,500	1,500	1,100	
	0	0		
査定額	説明			
1,500				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・マイキーID設定に関する支援を行った。 9,667件 ・マイナポイント制度の周知のための広報、フリーペーパー、FM、CATVなどを実施した。 ・出張ID設定支援についても実施した。
評価等	・マイナポイント事業への関心を高めるため、広く周知を行った。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・マイナポイント事業は、令和3年3月で終了予定であったが、令和3年9月までに延長されたことから、引き続き、制度の周知や利用の促進に取り組む。
	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input checked="" type="checkbox"/> R3完了予定

5.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・マイキーID設定に関する支援を行った。 8,245件 ・マイナポイント制度の周知のため折込広告を実施した。 ・出張ID設定支援についても実施した。
評価等	・マイナポイント事業への関心を高めるため、昨年度に引き続き広く周知を行った。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・マイナポイント事業第2弾の実施に伴い、来年度も引き続き、制度の周知や利用の促進に取り組む。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・国のマイナポイント第2弾の対応に必要な金額を追加
-------------------	---------------------------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(令和3年度決算)

事業名	61180 事業承継支援事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(2)	地域産業の担い手確保と生産性の向上		
			項	1	商工費		根拠計画		産業振興計画、過疎地域持続的発展計画		
			目	1	商工振興費						
担当課	商工観光部 商工振興課	内線	2213								

1. 事業の目的・概要(Plan)

目的	・円滑な事業承継を推進することにより、市内事業者の有する技術や販路、ブランド力などの次代への継承を図る。	概要	・事業承継のための融資に係る利子・保証料の補給により、市内事業者の円滑な事業承継及び事業承継を契機とした経営基盤の強化を支援
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
第2次産業の市内総生産額(年間)	(H30) 952億円	(H30) 952億円	617億円
第3次産業の市内総生産額(年間)	(H30) 2,552億円	(H30) 2,552億円	2,540億円

2. 事業の実施結果等(Do)

		R2			R3		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		300	300	3,800	3,800	1,536	1,236
特定財源	国費()						
	県費(岐阜県清流の国ぎふ推進補助金)		150				△ 150
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)						
一般財源		300	150	3,800	3,800	1,536	1,386
個票枝番	主な事業内容						
	事業承継支援事業費	300	300				△ 300
◎ 1	事業承継関連融資			3,800	3,800	1,536	1,536

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4. 令和4年度予算編成(Action)

R4予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
5,300	3,200	3,200	△ 600
		1,000	1,000
5,300	3,200	2,200	△ 1,600
査定額	説明		
3,200			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3. 令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	事業承継推進委員会を開催し、事業承継における問題点を把握した。事業承継を周知するための、チラシ作成などを実施した。
評価等	・事業承継の取り組みを促進していくため、相談窓口の明確化や関係者の役割と連携の仕組みづくり、事業者への啓発と相談の受入を行うことができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定 ・円滑な事業承継を支援するため、事業承継関連融資に利子・保証料補給制度を創設し、支援する。

5. 令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	・事業承継推進委員会を開催し、事業承継における課題等の情報共有及び意見交換を行った。 ・事業承継関連融資に係る利子・保証料の補給を行った。(保証料補給1件、利子補給3件)
評価等	・事業承継関連融資に係る助成制度を運用することで、市内事業者の円滑な事業承継に寄与した。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定 ・円滑な事業承継を支援するため、引き続き事業承継関連融資に利子・保証料補給制度を運用し、支援する。

担当課 予算要求 ポイント	事業承継融資の保証料・利子補給に必要な経費を計上
---------------------	--------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定の 考え方	・財務部査定のとおり

主要事業個票(令和3年度決算)

事業名	61180 事業承継支援事業費	区分	<input checked="" type="checkbox"/> R3新規	<input type="checkbox"/> R4新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	商工振興課
枝番・内容	1 事業承継関連融資利子・保証料補給金		<input type="checkbox"/> R3拡充	<input type="checkbox"/> R4拡充		款	6	商工費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		1	商工費	内線	2213	
		<input type="checkbox"/>		目		1	商工振興費	作成年月	R4.8	

事業の目的・概要(Plan)

目的	・市内の事業者が受けた事業承継のための融資に係る利子・保証料を補給することで、事業承継の円滑な実施及び市内事業者の経営基盤強化を支援する。	概要	・日本政策金融公庫、岐阜県中小企業資金融資制度、岐阜県信用保証協会の保証制度を利用した事業承継関連融資を受けた事業者に対し、3年間に支払った利子の全額と、保証料の全額を補給する。
----	---	----	---

【参考】R2決算(Do-Check) R3.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

【参考】R3当初予算(Action) R3.3時点 (千円)

予算額	当初	3,800
主な経費	事業承継関連融資に係る利子・保証料補給金	
対前年度増減額(当初予算)		3,800

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R3決算(Do-Check) R4.8時点 (千円)

予算額	当初	3,800
	繰越	0
	補正等	0
	最終	3,800
決算額		1,536
対前年度増減額(決算)		1,536

R4当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	3,200
主な経費	事業承継関連融資に係る利子・保証料補給金	
対前年度増減額(当初予算)		△ 600

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	<ul style="list-style-type: none"> ・利子補給:対象融資の実行日から3年以内に支払った利子額(年利4%以内) ・保証料補給:対象融資の実行時に必要となる保証料額(100万円以内)
[スケジュール]	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年4月 申請受付開始

事業実績、評価等	
[事業実績]	<ul style="list-style-type: none"> ・事業承継関連融資に係る利子・保証料の補給を行った。(保証料補給1件、利子補給3件)
[評価等]	事業承継関連融資に係る助成制度を運用することで、第三者(別会社)によるM&Aや、同業者による事業承継、製造業務の一部を他の事業者が承継するなど、市内事業者の円滑な事業承継に寄与した。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・円滑な事業承継を支援するため、引き続き事業承継関連融資に利子・保証料補給制度を運用し、支援する。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	<ul style="list-style-type: none"> ・利子補給:対象融資の実行日から3年以内に支払った利子額(年利4%以内) ・保証料補給:対象融資の実行時に必要となる保証料額(100万円以内)
[スケジュール]	